

# 循環型社会形成

## 基本的な考え方

### 考え方

TOPPAN グループでは、次の項目を循環型社会形成に関する基本的な方針としています。循環型社会形成を重要な経営課題と位置付け、以下の優先順位で廃棄物などの処理を行っています。

- ① 事業活動に伴って生ずる廃棄物などの排出抑制を優先する。
- ② 抑制した結果、排出される廃棄物などは、再使用・再資源化することを優先する。
- ③ 再使用・再資源化されない廃棄物などは適正処理を実施する。

なお、環境負荷の低減に有効な場合はこの順位によらない場合があります。

## 取り組み

### 活動実績・データ

TOPPAN グループ地球環境宣言に則り、限りある資源の有効活用のために、廃棄物の排出量削減、再資源化、適正処理を実施しています。

TOPPAN グループの廃棄物は情報コミュニケーションと生活・産業の事業分野を中心とした事業所から出る紙くずが最も多く、総排出量の63%を占めます。生活・産業事業分野の廃プラスチック類が18%、エレクトロニクス事業分野の廃酸がこれに続きます。紙くずは再生紙へ、廃プラスチックは分別や複合素材のペレット化などマテリアルリサイクル率の向上に努め、廃酸は社内で減容化処理を行っています。さらに、バーゼル条約附属書に定義される規制対象廃棄物(有害廃棄物)においてはその排出量を把握し、排出の抑制および適正管理・適正処理に努めています。2022年4月に施行されたプラスチックに係る資源循環の促進

等に関する法律に基づく、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量および排出の抑制・再資源化等に関する実績と目標は次ページの表の通りです。また水も限りある資源と捉え、拠点ごとの水リスク評価、使用

量の削減と排水の水質管理を行っています。

今後も、廃棄物排出量の抑制、リサイクルの推進に努め、限りある資源の有効活用に取り組みます。

## 有害廃棄物と非有害廃棄物の排出量とその処理方法別内訳

年度		2020	2021	2022
廃棄物総排出量(t)		322,110	315,512	297,211
有害廃棄物(t)	排出量	29,978	29,699	25,953
処理方法別内訳(t)	マテリアルリサイクル量	24,662	25,078	19,954
	熱回収量	3,596	3,349	3,370
	単純焼却量	298	305	1,106
	埋立量	1,364	917	1,522
	その他	58	50	0
非有害廃棄物(t)	排出量	292,132	285,813	271,258
処理方法別内訳(t)	マテリアルリサイクル量	248,060	240,011	231,767
	熱回収量	37,824	38,462	31,433
	単純焼却量	175	1,072	1,785
	埋立量	5,452	5,960	6,272
	その他	620	309	0

※ 廃棄物総排出量、有害廃棄物の排出量および埋立量、非有害廃棄物の排出量および処理方法別内訳の2022年度実績について、数値修正により、2023年10月1日以降に変更しました。

## プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づく、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量および排出の抑制・再資源化等に関する目標

	法人名	2022年度 排出量 (t)	排出抑制および再資源化等に関する 2022年度目標	2022年度実績 (前年度比)	評価 未達:× 達成:○	排出抑制および再資源化等に関する 2023年度目標
多量排出事業者	株式会社トッパンパッケージプロダクツ	13,325	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-0.3%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	タマボリ株式会社	1,622	フィルム原反巻き替えロス前年度以下	ロス率-0.1%	○	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパン建築プロダクツ	1,380	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	+6%	○	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパンコミュニケーションプロダクツ	903	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-14.9%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	凸版印刷株式会社	883	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	+15.9%	○	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパンインフォメディア	547	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-1.0%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	トッパンプラスチック株式会社	474	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-6.5%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパンTOMOEGAWAオプティカルフィルム	411	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	+7.8%	○	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパンパッケージングサービス	276	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-59.6%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
排出事業者	株式会社トッパンエレクトロニクスプロダクツ	104	マテリアルリサイクル率前年度比+1.8%	-3.5%	×	マテリアルリサイクル率前年度比+2.3%
	株式会社トッパンテクノ	74	-	-	-	-
	凸版物流株式会社	20	-	-	-	-
	株式会社トッパンプロスプリント	20	-	-	-	-
	株式会社トッパンメディアプリンテック東京	9	-	-	-	-
	関西ボトリング株式会社	6	-	-	-	-
	株式会社トッパン・コスモ	0.4	-	-	-	-
	株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ	0.1	-	-	-	-

## 2022年度環境目標・実績・評価

	管理目標	管理項目	2022年度			
			環境目標	実績	達成率	評価
資源循環型社会への貢献	廃棄物最終埋立量の削減	廃棄物最終埋立量	5,579t	7,794t <input checked="" type="checkbox"/>	60.3%	C
	資源循環への貢献	廃プラスチックのマテリアルリサイクル率	57.0%	56.5%	99.1%	B
水の最適利用	地域リスクに基づいた定量目標の設定		設定実施			

評価基準:S・・・目標を大幅に上回る成果があった(達成率%≧105) A・・・目標を達成できた(100≦達成率%<105) B・・・積極的に取り組んでいるが目標には至らなかった(70≦達成率%<100) C・・・取り組みが不十分(達成率%<70) 達成率:200-(実績値/目標値)×100[%](マテリアルリサイクル率の達成率は200-(目標値/実績値)×100[%]で計算)

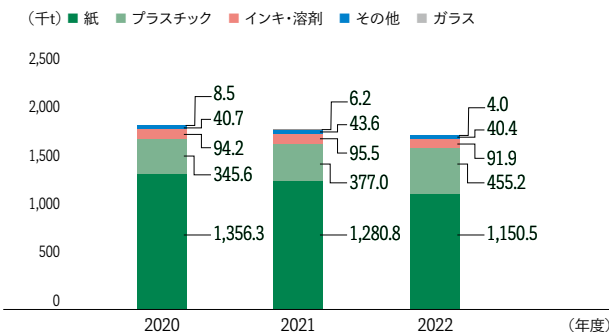
※ 廃棄物最終埋立量、廃プラスチックのマテリアルリサイクル率の2022年度実績および達成率について、数値修正により、2023年10月1日以降に変更しました。

### 関連データ

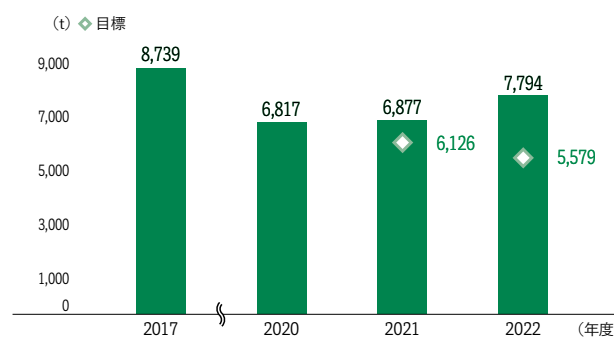
#### 活動実績・データ

海外のグループ子会社まで含めた全グループ分の把握を行い開示しています。

#### 原材料投入量

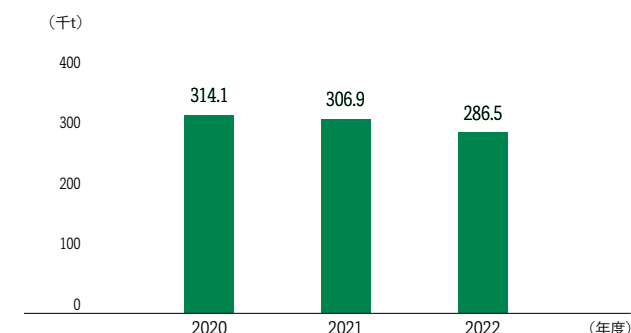


#### 廃棄物最終埋立量



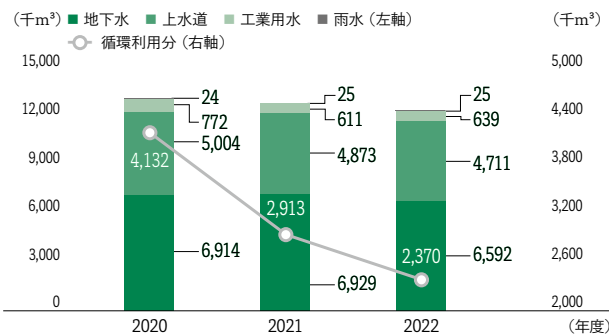
※ 環境目標の見直し(P96参照)に伴い、2017年度実績値を修正しました。(修正前の2017年度実績は7,407tでした。)  
 ※ 廃棄物最終埋立量の2022年度実績について、数値修正により、2023年10月1日以降に変更しました。

#### リサイクル量



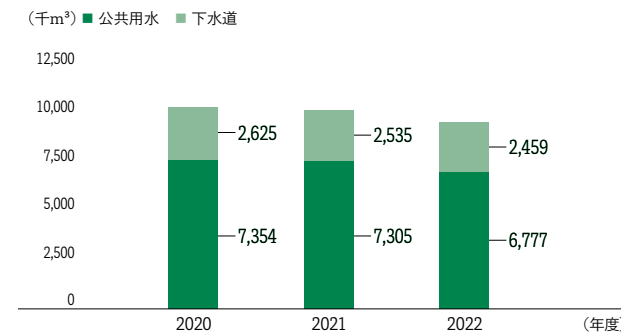
※ リサイクル量の2022年度実績について、数値修正により、2023年10月1日以降に変更しました。

#### 取水量



※ 2022 年度実績について、在ロシア 2 事業所は集計対象外としています。

#### 排水量



※ 2022 年度実績について、在ロシア 2 事業所は集計対象外としています。

#### 廃プラスチックのマテリアルリサイクル率



※ 廃プラスチックのマテリアルリサイクル率の2022年度実績について、数値修正により、2023年10月1日以降に変更しました。

※ 第三者保証対象指標には  を付しています。